

EVは、モーターを動力源とすることで、走行時のCO<sub>2</sub>排出量ゼロ、低騒音など環境に対する負荷低減に加え、低振動でスムーズな加速により、乗る人の疲労低減にも寄与します。

一方、バッテリーの搭載量によって航続距離が決まるため、押し歩き時の重さなど、取り廻し性が必要とされる二輪車では、その特性とバッテリー搭載量とのバランス取りが、重要なポイントです。

EV-neoの開発コンセプトは、

## “タフで使えるビジネスEV”

Hondaは、モビリティとして使う人に役立つことはもとより、多くの人と出会い、ひろく社会に貢献するEVを夢描くことから開発をスタートしました。

そして、CO<sub>2</sub>の削減効果はもちろん、振動が少なく騒音が小さいなど、EVの持つ数々の特長を活かし、定常的な走行ルートや距離で使用されているビジネスバイクの領域に、EV-neoを投入します。

ビジネスバイクは、その用途や使用頻度から、積載性や耐久性などが特に高いレベルで求められる、Hondaにとって開発のハードルが高い商品カテゴリーです。

Hondaのビジネスバイクには、スーパーカブ、ジャイロシリーズなど、長年にわたりお客様にその有用性を認めていただいている商品が既にあります。

EV-neoは、それら定評あるビジネスバイクカテゴリーへ「EVでチャレンジ」という高い志を持って開発に取り組んできました。

### ■イメージスケッチ

